

さらなる節水のお願いについて

令和8年4月22日（水）
知事定例記者会見資料

奈良県広域水道企業団 総務部総務課
橋本、乾井（0744-32-1260）

- 最近の降雨により、水不足が解消されたと思われているかもしれませんが、まだまだ十分な貯水には至っていません。
今後、農繁期を迎えて水需要が増し、水不足が更に深刻になる可能性があります。
- 現在、奈良県広域水道企業団では、例年に比べ概ね7%の水道使用量の減少を目指し、水道の圧力を弱める給水制限を実施しています。
- これまで、県民や事業者の皆様のご理解とご協力により、節水の取り組みを進めてまいりましたが、この1～2週間、水の使用量が増加に転じています。
- 現在では配水池などに貯留している水により、取水量を超える給水ができていますが、このままの使用状況が続けば貯留分が枯渇し、地域によっては水が出にくくなる、更には断水が発生するなど、県民生活や事業活動への影響が心配されます。
- 消防の放水訓練自粛などの公共施設での取り組みを含め、節水にご協力いただいている事例もありますが、こうした事態を回避し、県民生活や事業活動への影響を最小限にとどめるためにも、今一度、節水の徹底を強くお願い申し上げます。



- 企業団といたしましても、県域水道一体化のメリットを活かし、新たに室生ダムやその他の水源からの取水を強化して、地域間で融通し合うなど、水の安定供給の確保に全力で取り組んでいます。
- 県民の皆さまのご理解とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

奈良県広域水道企業団構成26市町村 令和8年の配水量推移
(日平均配水量)

